

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報	会社名	株式会社エーゼット
	所在地	大阪市鶴見区茨田大宮 1-7-59
	担当者	営業部
	電話番号	06-6915-3501
	FAX 番号	06-6915-1202
	緊急連絡先	住所に同じ
	作成日	2007/12/06
	改訂日	2019/03/06

製品名：AZ フルメンテ 浸透防錆潤滑スプレー

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

可燃性・引火性エアゾール

区分 1

健康に対する有害性

生殖毒性

区分 1A

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

区分 3（麻酔作用）

吸引性呼吸器有害性

区分 1

※記載のない項目は「区分外」、「分類対象外」、「分類できない」のいずれかである

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

H222: 極めて可燃性・引火性の高いエアゾール

H229: 高压容器：熱すると破裂のおそれ

H360: 生殖能または胎児への悪影響のおそれ

H336: 眠気またはめまいのおそれ

H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

注意書き

応急措置 p.1 に記載

取り扱い p.2 に記載

保管 p.2 に記載

廃棄 p.3 に記載

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物

成分

石油系溶剤(20-40%)、鉱油(5-15%)、添加剤、LPG

CAS No.

企業秘密のため非公開

4. 応急措置

吸入した場合：

新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。必要なら医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合:	口をすすぐ。無理に吐かせない。医師の手当を受ける。
眼に入った場合:	水でよく洗う。コンタクトレンズを装着している場合 固着してなければ外す。十分、洗浄後、医師の手当を受ける。
皮膚にかかった場合:	水と石けんで十分、洗う。衣類が濡れた場合、直ちに着替える。濡れた衣類 を再着用する場合は洗濯する。 腫れ、痛みが生じる場合、医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消火方法:	速やかに容器を安全な場所に移す。 消火に棒状の水を使用してはならない。 初期の消火には下記の消火剤を用いる。
消火剤:	霧状強化剤、泡、粉末、炭酸ガス

6. 漏出時の措置

保護具（呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、眼鏡、マスク等）を
着用する。
風上から作業する。
砂、おがくず、ウエス、新聞紙等に吸い込ませて、回収する。
土壌、河川、湖沼、海域、下水道等に流入しないように注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取り扱い:	関係法令の定めるところによるほか、以下の点に注意する。 製品の使用中、飲食および喫煙しない。 熱、火花、火炎、高温のものから遠ざける。 必要に応じて呼吸用保護具、保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用する。 屋外または通気性が良い場所で使用する。 常温で取り扱い、その際、蒸気の吸入、原液との接触に注意する。 使用後は手洗いを十分する。 使用中も水分、異物が混入しないよう、できるだけ密閉する。
保管:	屋内の直射日光が当たらない涼しい場所で保管する。 ふたを必ず密閉する ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触、同一場所での 保管を避ける。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	日本産業衛生学会	ACGIH(TLV-TWA)
石油系溶剤	設定されていない	設定されていない	184ppm
鉱油	設定されていない	3mg/m ³	5mg/m ³
設備対策	排気装置を設けるか通気性を良くする。 身体洗浄、うがいができる洗浄設備を設置する。		
呼吸用保護具	必要であれば防毒マスクを着用する。		
保護眼鏡	必要であれば着用する。		
保護手袋	長時間、または繰り返し接触する場合、耐油性のものを着用する。		
保護衣	長時間にわたって取り扱う場合、または濡れる場合には耐油性の 長袖作業服等を着用する。		

9. 物理的及び化学的性質

外観等	黄褐色透明液体
揮発性	あり
密度	約 0.80g/cm ³ (15℃)
溶解度	水に不溶
引火点	70℃以上
流動点	データなし
発火点	データなし
爆発限界	1.0-7.0%(推定値)

10. 安定性及び反応性

可燃性	あり
酸化性	なし
安定性	安定
反応性	強酸化剤との接触を避ける。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	石油系溶剤	LD ₅₀ >15,000mg/kg (ラット)
		鉱油	LD ₅₀ >5,000mg/kg (ラット)
	経皮	石油系溶剤	LD ₅₀ >3,160mg/kg (ラット)
		鉱油	LD ₅₀ >5,000mg/kg (ラット)
	吸入(ミスト)	鉱油	LC ₅₀ =5mg/L(4h) (ラット)
刺激性	混合物の分類に基づき危険有害性区分を分類した。		
眼刺激性	有用なデータなし。		
慢性毒性	有用なデータなし。		
発がん性	使用している基油は高度精製基油であり、IARC ではグループ 3 に分類。(人に対する発がん性について分類できない) EU による評価：発がん性物質としての分類は適用される必要はない。		
感作性	有用なデータなし。		
変異原性	有用なデータなし。		
催奇形性	有用なデータなし。		
生殖毒性	混合物の分類に基づき危険有害性区分を分類した。		

12. 環境影響情報

魚毒性、蓄積性、分解性：有用なデータなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物処理法に従って自ら処理するか、産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合、そこに委託して処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号 1950
品名 エアゾール
国連分類 クラス 2.1
容器に漏洩、破損のないことを確かめ、荷崩れを起こさないよう確実に積み込む。
関連法令に従った措置も講じる(品名、数量、火気厳禁の表示、消火装置の設置
積み重ねの高さは 3m 以下にする等。)
第 1 類及び第 6 類の危険物及び高压ガスと混載しない。

15. 適用法令

消防法・・・第 4 類第 3 石油類 危険等級Ⅲ
水質汚濁防止法・・・油分排出規制 5mg/L (n-ヘキサン抽出分として)
下水道法・・・鉱油類排出規制 5mg/L (n-ヘキサン抽出分として)
海洋汚染防止法・・・油分排出規制 (原則禁止)
廃棄物の処理および清掃に関する法律・・・産業廃棄物規制 (拡散、流出の禁止)
労働安全衛生法・・・通知対象物：鉱油
表示対象物：鉱油
PRTR 法・・・非該当

16. その他

参考文献

1. 化学品の分類及び表示に関する世界調和システム(GHS)改訂 6 版 (2015)
2. 日本規格協会 JIS Z 7253:2012、JIS Z 7252:2014
3. 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(nite) [GHS 関連情報]
4. 各原料の SDS

注意事項

この安全データシート(SDS)は入手可能なデータをもとに通常の取り扱いを想定して作成したものです。

SDS は安全の保証を約束するものではありません。

取扱者は状況に応じて使用してください。

SDS の内容は新たな知見により予告なく変更することがあります。
